

## H28年度 担い手農業者との意見交換 1

高知県農業公社

団体名 コウチ・アグリマネジメント・クラブ(会員27名)

会議名 コウチ・アグリマネジメント・クラブ総会

高知県農業会議主催

日時 平成28年4月25日

意見交換方法 総会終了後、担い手と意見交換を行った。

後日、電話での問い合わせで対応をした事例もあり

担い手農家	意見交換	検討
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまった3ha程度の農地を探している。</li> <li>・ほ場整備地を希望</li> <li>・有機栽培を希望しているが、農地の確保が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機栽培を希望しているため、地主とその周辺農家の同意を得るのが難しい。</li> <li>・有機栽培での営農はドリフトの問題もあり難しく、中山間地域を含む広域での農地の紹介を行っていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休農地の効率的利用にはどう取り組むのか。</li> <li>・遊休農地の出し手はあるが、受け手へのマッチングはどうしていくのか。</li> <li>・集落単位でのこまめな受け手・出し手へのコーディネートをお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落単位での掘り起こしについては、H27年9月から導入した農地活用サポーターを地区単位で増員していく計画をしている。</li> <li>・貴法人からも地域の世話役、区長などを推薦していただきたい。</li> <li>・遊休農地の問題は、農地利用最適化推進委員と連携を図り、農地活用サポーターとして委嘱できるものか検討をしている。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほ場整備地を希望</li> <li>・水稻の面積を拡大したい。</li> <li>・施設ハウスを導入する計画あり。農地の貸借については機構事業を活用したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出し手の情報が少なくまとまった農地が少ない。出し手の掘り起こしについては、地域の農地・人に精通した者を農地活用サポーターを探している。</li> <li>・貴法人からも地域の世話役、区長などを推薦していただきたい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹を定植してかまわない地主が少ない。</li> <li>・機構事業の活用で地主への安心をアプローチして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・永年作物である果樹は地主が貸したくない傾向がある。</li> <li>・中間管理事業をPRし、地主へ信頼・安心をPRしていく。また希望候補地があれば、市町村、農業委員等と連携し地主へのアプローチをしていく。</li> <li>・H26,27の実績では、果樹農家でリタイヤする農家の園地をマッチングするなどの取組を行った。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間管理事業は利用配分計画の公告までに時間が掛かるので、作業に入っているものか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用配分計画まで時間が掛かるのは一定仕方ないが、できるだけ時間短縮ができるように努力していく。</li> </ul>

## H28年度 担い手農業者との意見交換 2

高知県農業公社

団体名 集落営農組織等

会議名 幡多地域集落営農法人連絡協議会

日時 平成28年6月15日

担い手 農家	意見交換	検討
1	・相続未登記農地は相続人全員の同意が必要なら中間管理事業での契約は難しいところがある。	・相続未登記農地については、持ち分の過半の同意が必要であり、同意が取れない場合は利用権設定ができない。 ・当該地域では、農地活用サポーターを配置(4名)し相続人の同意を取り事業を実施している。
2	・相続未登記農地は相続人全員の同意が必要なら中間管理事業での契約は難しいところがある。	・相続未登記農地については、持ち分の過半の同意が必要であり、同意が取れない場合は利用権設定ができない。 ・当該市では、農地活用サポーター(世話役等に機構から委嘱)の配置を市町村に推薦依頼をしており、サポーターを通じて同意を取っていくこと検討している。

## H28年度 担い手農業者との意見交換 3

高知県農業公社

担い手	認定農業者
会議名	市町認定農業者総会
日時・場所 人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年7月29日、佐川町、6名</li> <li>・平成28年7月29日、高知市、12名</li> <li>・平成28年9月 9日、土佐市、8名</li> <li>・平成28年9月23日、香南市、20名</li> </ul>
意見交換 方法	総会終了後、認定農業者と意見交換を行った。

担い手農 家	主な意見と要望	意見、要望を踏まえた検討内容と改善点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作条件改善事業で水路、農道整備を主体とした小規模な圃場整備を実施したい。機構の重点地区に指定して欲しい。(佐川町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手への農地集積・集約計画の段階から参画し、内容によっては重点地区の指定を検討する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地が目立ってきた。機構として対策を強化して欲しい。(高知市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理事業推進時に、必要に応じて耕作放棄地解消緊急対策、高知県農地活用推進事業を紹介しているが、各事業の更なる周知を図る。</li> <li>・農地中間管理事業の推進を加速することで、耕作放棄地の発生を未然に防ぐ。</li> <li>・農地中間管理事業や遊休農地意向調査によってもたらされる農地等の情報を精査し、有望な情報については、農地中間管理事業の要件を満たさない農地や空きハウスの情報も含めて、ホームページ上で公開しマッチングを図っている。この取り組みをさらに強化する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ沖地震対策として、津波浸水地域から園芸用ハウスの移転を検討している。移転先を斡旋して欲しい。(香南市)</li> <li>・本県には施設園芸に取り組む担い手が多いので、施設園芸用農地の確保体制を強化すべき。(香南市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地相談会などを実施し出し手に事業周知を図ることで、農地確保に努めている。</li> <li>・次世代園芸団地の整備を図るため、高知県農業公社次世代施設園芸団地農地確保基金を活用して優良農地を確保するとともに、高知県園芸団地整備円滑化事業を活用して園芸団地の基盤整備を支援する。</li> <li>・次世代園芸団地農地確保に向けて体制を強化する。</li> </ul>

## H28年度 担い手農業者との意見交換 4

高知県農業公社

担い手	人農地プランの中心経営体
会議名	人農地プラン検討会
日時・場所 人数	・平成29年1月11日、高知市介良沖の丸、20名 ・平成29年2月6日、高知市大津、12名 ・平成29年2月2日、高知五台山、11名
意見交換 方法	検討会の中で中心経営体と意見交換を行った。

担い手農 家	主な意見と要望	意見、要望を踏まえた検討内容と改善点等
1	・畦畔を除去し農地を集約したい。中間管理事業を活用した事業化を検討しているので、協力して欲しい。(介良沖の丸)	・機構の重点地区に指定し、構想段階から機構をあげて支援している。また、地区の世話役に農地活用サポーターを委嘱して活動していただいている。今後も継続して支援する。
2	・せま地直しを目的とした圃場整備を検討している。。中間管理事業を活用した事業化を検討しているので、協力して欲しい。(五台山)	・構想段階から座談会に参加する等で支援する。具体化した場合には、重点地区の指定も検討する。

## H28年度 担い手農業者との意見交換 5

高知県農業公社

担い手	果樹の担い手
会議名	北川村小島地区集会
日時・場所 人数	平成28年10月18日、北川村、13名
意見交換 方法	集会で果樹の担い手と意見交換を行った。

主な意見と要望	意見、要望を踏まえた検討内容と改善点等
<p>・ユズの担い手を支援するため、小規模基盤整備や新改植を計画している。農地集積の面で協力して欲しい。</p>	<p>・構想段階から、北川村ユズプロジェクトチームの一員として支援している。</p> <p>・今後は、産地協議会の構成員としても支援していく。</p>

## H28年度 担い手農業者との意見交換 6

高知県農業公社

担い手	青年就農給付金準備型受給者等
会議名	安芸市新規就農者等研修会
日時・場所 人数	平成28年10月20日、安芸市、8名
意見交換 方法	研修会で農地中間管理事業の周知を図った後、意見交換した。

主な意見と要望	意見、要望を踏まえた検討内容と改善点等
<p>・施設園芸で経営開始を予定している。中古ハウス付きの農地やハウス建設が可能な農地を確保したい。就農予定日までに営農可能な状態にしたいので、協力願いたい。</p>	<p>・施設園芸の農家にも利用しやすいよう担い手の募集回数を年5回に増やし、施設園芸に精通した推進支援員を配置して出し手との調整を図っている。</p> <p>・レンタルハウス、サポートハウス、就農給付金等各種の就農支援事業の要件に合致するよう細心の注意を払って事業を推進する。</p>